

ALPS処理水の海洋放出に係る関連産業の状況調査結果について（9月15日現在）

調査期間：9/11～9/15

(1) 既に生じている影響

○ 中国等へ向けた輸出停止による影響

(水産物連絡協議会)

- ・加工業者各社の冷凍倉庫へのホタテの在庫が積み増しされている。
- ・在庫消化が進まない一方、ホタテの水揚げは順調で、加工と保管に係るコスト(人件費や冷凍保管庫の電気代、他地区の冷凍倉庫への移送代など)がかさんでいる。

(商工関連団体)

- ・香港向け輸出に関しては10都県の水産品が規制対象となっている中、罰則規定があるため、現地インポーターが発注を控えている（もともと唯一輸出の際に産地証明が必要な活ホタテの輸出実績はある）。
- ・香港経由中国本土向けの物流は、厳しく通関検査されているとのこと。
- ・8月に商談を行った香港の取引先より、しばらく物流が止まることから、具体的な商談について先延ばしの連絡が入った。
- ・中国以外への輸出を模索していた中、欧米の業者から値下げ要求があった。

(食品関係団体)

- ・原材料にホタテが使用されている調味料の中国向け出荷の約70%が中止となった。
- ・ホタテの加工品を商談会に出品したところ、中国及び香港から断られた。
- ・玉冷の荷動き停滞と価格下落や中国向け両貝の輸出のストップが発生。
- ・輸出用のナマコ加工ができず、原材料の保管料が発生。

(観光関係団体)

- ・中国人観光客について、団体客は若干ではあるがキャンセルが発生したとの声あり。

(2) 今後懸念すること

○ 中国の水産物輸入全面停止による影響

(水産物連絡協議会)

- ・加工業者は在庫の消化ができなため、収入がなく、今後の資金繰りを懸念。
- ・加工業者から、一連の問題への国の対策にスピード感がないと怒りの声がある。

(商工関連団体)

- ・長期化による外国人技能実習生等の受入減少、他社との競合による売上減少。
- ・売り先の見直しに伴う再加工・再パッケージの人手不足解消に向けた設備投資に伴う負担増。
- ・水産加工品をはじめ、菓子など加工品全般については今のところ香港へ輸出されたという情報がないので引き続き様子見の状況。

(食品関係団体)

- ・東電への賠償請求等の書類作成は難しいことも多く、賠償金を受け取るまでに時間を要することとなるが、支援体制の構築がされていないため、スムーズな請求が行えない。
- ・現状問題は発生していないが、タイにおいてランダムに通関検査が強化されている。

(3) 海外(中国)の状況(北海道上海事務所からの情報)

- ・在上海日本国総領事館によると、前週と同様、抗議電話はほぼなくなった。
- ・現地の処理水に関する報道は、引き続き減少傾向。
- ・現地関係者からのヒアリングでは、前週と状況が変わっていない。